

第 1 章 計画策定の趣旨等

1 計画策定の趣旨

循環器病対策に関する動向や本県の現状を踏まえ、本県の実情に即した「富山県循環器病対策推進計画」を策定し、循環器病予防対策を総合的かつ計画的に推進する。

2 計画の位置づけ

法第11条に基づき富山県が策定する「都道府県循環器病対策推進計画」

3 計画期間

令和3年度から令和5年度まで

第 2 章 循環器病を取り巻く富山県の概況

1 富山県の人口

2 健康寿命

3 三大生活習慣病（がん、脳血管疾患、心疾患）の状況

重点的に取り組む事項

計画の実効性を高めるため、本計画期間（令和3年度から令和5年度まで）に重点的に取り組む事項を以下のとおりとする。

①循環器病の予防や正しい知識の普及

②地域の課題に応じた循環器病の発症予防対策

③循環器病の予防から治療、回復支援、再発予防に至る切れ目のない支援体制の整備

第 3 章 全体目標

健康寿命の延伸と循環器病による年齢調整死亡率の減少

第 4 章 個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及

発症予防のための健康的な生活習慣づくりや危険因子に関する普及啓発

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 循環器病を予防する健診の普及

・特定健康診査等の受診率の向上や適切な保健指導の実施のための関係機関との連携の推進

(2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保

・症状出現時の迅速な救急搬送の要請等に関する普及啓発
・関係機関と連携したメディカルコントロール体制の充実

(3) 急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築

・急性期医療の充実、医療体制の整備
・合併症や再発を予防する治療の推進

(4) リハビリテーションの体制整備

・医療、介護、福祉の連携による「地域包括ケアシステム」の推進
・適切で切れ目ないリハビリテーション提供体制整備

(5) 循環器病と緩和ケア

・多職種連携、地域連携のもと、初期からの適切な緩和ケアの推進

(6) 相談支援及び情報提供

・正しい情報提供及び相談体制の整備と連携の推進

(7) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

・手足等の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対する支援体制整備

(8) 治療と仕事の両立支援・就労支援

・患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取組み推進

(9) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策

・小児期から成人期にかけて必要な医療等を切れ目なく行える体制整備

3 循環器病の調査・研究推進

(1) 診療データの収集・分析

・専門的治療の推進と診療データの収集・分析

(2) 本県の特徴を踏まえた研究推進

・富山県脳卒中情報システムや急性心筋梗塞の診療情報の活用等による発症や診療、連携状況の把握及び分析

第 5 章 計画の推進体制

関係者等の有機的連携、協力の更なる強化、新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策、計画の評価・見直し